

|       |       |      |         |       |      |
|-------|-------|------|---------|-------|------|
| 指定校番号 | 30026 | 学級活動 | ○ 児童会活動 | クラブ活動 | 学校行事 |
|-------|-------|------|---------|-------|------|

平成30年度生徒指導集中対策及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

|     |           |    |       |        |       |
|-----|-----------|----|-------|--------|-------|
| 学校名 | 庄原市立庄原小学校 | 校長 | 西田 早苗 | 生徒指導主事 | 坂田 雅則 |
|-----|-----------|----|-------|--------|-------|

**取組事例名 『児童会執行委員会』**

**取組における育てたい資質・能力**

|              |   |                |   |          |   |
|--------------|---|----------------|---|----------|---|
| 人間関係形成       |   | 社会参画           |   | 自己実現     |   |
| 「共に学びをつなげる力」 | 3 | 「課題を見つけ、追究する力」 | 1 | 「学びへの自信」 | 2 |

**取組のねらい『キーワード 主体的』**

児童会執行部と各委員会の委員長が庄原小学校の気になることについて共有し合い、それぞれの委員会でどんな取組ができるのか協議する時間を設ける（児童会執行委員会）ことで、委員会活動をより児童の主体的な取組にさせる。

**取組の具体的内容『キーワード 課題追究』**

年度初め、児童会執行部の6人が、「あたり前のことをあたり前に行い、みんなが安心して過ごせる学校にしよう」という年間児童会目標を考えた。そこで、今までの生活アンケートの項目を見直し、学校生活において児童があたり前にできるようになってほしいと思うことを10項目選び、児童の自己評価の変容を指導に生かしていこうと考えた。

児童会目標の達成に向けた取組の1つとして、委員会活動前日の昼休憩に、児童会執行部の6名と各委員会の委員長6名が集まり、児童会執行委員会を実施することにした。児童主体の取組となるよう、児童会執行部が司会を務めている。

年間児童会目標、月の児童会目標、学校生活で気になっていること等を確認した後、各委員長は「常時活動」と「今月新たに取り組んでいきたいこと」をワークシートに記入する。記入後、順に「今月新たに取り組んでいきたいこと」を発表していく。児童会執行委員は、それぞれの発表に対して質問をしたり、アドバイスをしたりすることで取組内容を練り合っていく。各委員長は、児童会執行委員会で考えた新たな取組を翌日の委員会活動で提案している。

| 第7回児童会執行委員会 |   |
|-------------|---|
| 児童会目標       | 「あたり前のことを あたり前に行い みんなが安心して 学校生活を 送れるようにしよう」                           |
| 1月の児童会目標    | 「安全に気をつけて、落ちついた生活をしよう」<br>◎ろう下・階段を歩く ◎スロープを歩く<br>◎教室やろう下では、落ち着いた行動をする |
| 気になること      | 「.....」<br>「.....」  |
| 常時活動        | 1月に取り組んでいきたいこと  |
| 執行部         |   |
| 放送          |   |
| 保健・体育       |   |
| 美化          |   |
| 給食          |   |
| 図書          |   |
| 環境          |   |

ワークシート

**取組の課題・創意工夫『キーワード 比較』**

見通しをもった助言・指導ができるように、児童会執行委員が考えた新しい取組は、事前に各委員会の担当先生方に伝えておくようにした。

一人一人が児童会の一員であることを意識させるために、生活アンケートの結果は、全校朝会時に児童会執行部が全校に紹介するようにした。3学期の始めには、1学期の終わりと2学期の終わりの数値の変容を紹介した。数値を比較させることで、一人一人が学校の課題について考えることができた。

**あたり前のことを  
あたり前に行い、  
みんなが安心して  
すごせる学校に  
しよう。**

7. ろうかや階段を  
歩いている  
あてはまる  
**46% → 53%**

**1月の児童会目標**  
**安全に気をつけて、  
落ちついた生活をしよう**  
◎ろう下・かいだんを歩く  
◎スロープを歩く  
◎教室やろう下では、落ち着いた行動をする

全校朝会での発表資料の一部

## 取組の成果（効果）『キーワード 自信』

以前までは、担当の先生が主導で委員会活動を行ったり、委員長や副委員長がすぐに先生を頼ったりすることが多かったが、児童会執行委員会を行うことで、児童主体の取組になってきた。また、取組が主体的になってきたことで、高学年のきまりを守る意識が向上し、下級生の手本となる行動をとれる児童が増えてきた。

先生に言われてするのではなく、学校の課題をもとに自分たちで新たな取組を考え実践しているので、責任感をもって活動する児童が増えた。また、全校朝会等で取組を紹介したり、取り組んだ結果、生活アンケートの数値が向上したりしたことで、大きな自信をもつようになった児童も多い。

### 【1, 2学期に行った生活アンケートの結果】

#### 4段階評定

【4 あてはまる 3 どちらかというであてはまる 2 どちらかというであてはまらない 1 あてはまらない】

#### 4の【あてはまる】を選択した児童の割合

| 生活アンケートの項目                    | 7月  | 12月 | 増減  |
|-------------------------------|-----|-----|-----|
| レベル3以上のあいさつをしている。             | 44% | 55% | 11  |
| 髪型や服装が整っている。                  | 75% | 78% | 3   |
| チャイムの合図を守っている。                | 58% | 68% | 10  |
| レベル2以上のそうじをしている。              | 59% | 43% | ▲16 |
| 静かに朝読書をしている。                  | 72% | 70% | ▲2  |
| 給食準備中静かに読書をしている。              | 54% | 61% | 7   |
| ろうかや階段を歩いている。                 | 46% | 53% | 7   |
| グラウンドに行く途中のスロープを歩いている。        | 55% | 81% | 26  |
| 下校時静かに体育館前に並んでいる。             | 54% | 57% | 3   |
| 悪ふざけや面白半分で友達を傷つけないように気をつけている。 | 77% | 88% | 11  |

## 今後の展開『キーワード 意識 学びをつなげる』

児童会活動に対する高学年児童の意識、児童会の一員としての下級生の意識、先生方の意識。この3つの意識が変化したことによって、より自治的で主体的な児童会活動になってきている。この意識の変化が下級生に受け継がれ、庄原小学校の伝統となるよう、新児童会役員認証式や児童総会のもち方も工夫していく。

## 他教科との関わり『キーワード 第6学年国語科 話す・聞く』

単元名「問題を解決するために話し合おう」

ねらい「自分の意見を的確に伝え、相手の発言の意図を考えながら話し合うことができる。」

単元名「場面に応じた言葉を使おう」

ねらい「相手や場面に応じた言葉遣いを理解し、適した言葉を選んで使うことができる。」